

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	キャリアデザイン1	
科目基礎情報					
開設学科	放送芸術科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位			授業形態	講義
教科書/教材	毎回PPT・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
担当教員情報					
担当教員	山田素子、笹本篤、金原聖		実務経験の有無・職種	なし	
学習目的					
この科目を受講する学生は、科目の内容をよく理解し、社会人としてのマナー講義、就職活動の仕方、プレゼンテーション、グループワーク等でスキルを磨くことで、就職に対する「社会人基礎力」を向上させることがねらいである。さらに、スキルチェックブックを使用し、自らの性格や能力を自己判断をして、これからの目標を立てることで学生の「人間力」の向上を図ることがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分自身に何が不足しているのかを理解をさせ、今後の目標を立てることで自己の意識を高める。業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージして、自らが行動に移していく事で「社会人基礎力」「人間力」の向上を図り、自ら掲げた目標を達成することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業での行動を通じて、学生の「社会人基礎力」「人間力」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験	60%	試験で総合的に評価する		
	課題	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	オリエンテーション(1)		学校の仕組み、学科の仕組み、実習の仕組み、注意事項、実習室の使い方を理解する		
2回	オリエンテーション(2)		自己紹介や1年間の目標を掲げ、クラスでのコミュニケーションを図る		
3回	スキルチェックブックについて(1)		スキルチェックブックを使い自己分析をして自己を理解する		
4回	グループワーク(1)		グループごと映像を制作し、企画→撮影→編集を行い、協同作業の大切さを理解する		
5回	グループワーク(2)		グループごと映像を制作し、企画→撮影→編集を行い、協同作業の大切さを理解する		
6回	プレゼンテーション		グループワークで制作した映像をプレゼンテーションで目的と意図を発表をする		
7回	スキルチェックブックについて(2)		さらに細かな自己分析で自己を理解して、目標を立てる		
8回	スキルチェックブックについて(3)		目標を達成するのにどのような行動をしていくのか考える		
9回	映像について(1)		様々な映像を観て、映像についての解析、分析の仕方を理解をする		
10回	映像について(2)		様々な映像を観て、映像の表現力や撮影技法について理解をする		
11回	社会人としてのマナー(1)		社会人としての作法、言葉遣い、各種マナーのスキルを養う		
12回	社会人としてのマナー(2)		就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う		
13回	社会人としてのマナー(3)		就職活動についてのマナー、履歴書の書き方、面接の仕方などスキルを養う		
14回	スキルチェックブックについて(4)		目標を達成できたのか確認をして、新たな目標を立てる		
15回	まとめ		全体のまとめ		